

大会開催にかかる申し合わせ事項

大会に関わる全ての人は、IDカードを必ず身につけること。ない場合は入場不可とする。

試合会場へは、各チーム試合時間に合わせて来ること。(目安は、1試合前の試合中)

【学連の対応】

<試合会場での対応>

1. 各試合間には60分の間隔を設け、1会場最大6試合までとする。
2. 無観客試合とする。ただし、事前に申請がある日本リーグ関係者（以下、スカウト）は除く。
3. 試合会場入場時に、学連役員、審判員、チーム役員・選手等、全ての者を対象として、非接触型体温計（以下、体温計）による検温、消毒液による手指消毒を実施する。なお、風邪の症状がある者や体温が37.5度以上の者が出たチームは、試合会場への入館を許可しないものとする。その試合は順延となる。
4. コートの他、アップ会場、更衣室等、使用する部屋等は、可能な限り常時換気を行う。
5. 前試合ハーフタイム時のコート使用は、これを不可とする。
6. 各試合終了後に、試合会場やコート等の扉（取っ手）、ベンチ、オフィシャル席、ゴールポスト、試合補助道具等（モップの椅子、モップの柄等む）の消毒を実施するとともに、コートは最大限の換気を行う。
7. 当該日の日程終了次第、コートの他、アップ会場、更衣室等、使用する部屋等、可能な限り消毒を行う。

<消毒液等>

試合会場で使用する消毒液（噴霧式ボトル含む）、ペーパータオルは、2020年度の大会に出ていないもしくは中止や棄権等でもらっていないチームには学連が購入し、準備する。それ以外のチームは各チームで準備する。

【参加チームの対応】

受付で参加者一覧表と検温結果を提出する。当日の検温結果は、測定後に記入する。

<試合会場での対応>

1. 試合会場内では、常時マスクを着用すること。ただし、試合時間内は、審判員、試合出場者は例外とする。
2. 試合会場への入場は、各チームとも、登録者のうち、役員5名以内、選手25名以内、登録外トレーナー2名以内とする。入場の際は、必ず検温及び手指の消毒を実施する。また、日本協会登録証を必ず持参すること。ない場合は入場不可とする。
3. 自チーム以外の選手等と接触しないよう心がけること。また、観客席等では、ソーシャルディスタンスに配慮して対応すること。チームごとのゾーニングを行うので、必要以外はその範囲内で行動すること。
4. ベンチ登録外選手による観客席からの大声を出しての応援は禁止とする。マスクを着用すること。

<試合コートでの対応>

1. 自チーム間であっても、ハイタッチ等の手のひらでの接触は避けること。
2. ベンチの役員及び控え選手は、マスクを着用すること。
3. ハーフタイム時、および試合終了時に、自チームが使用していたベンチを消毒すること。
4. 試合終了後に、試合球を消毒すること。

<更衣、コート外アップでの対応>

1. 更衣室を使用した後は、適宜消毒すること。なお、シャワー室の使用は禁止する。
2. 次の試合のチームは、前の試合が行われている間に更衣を済ませ、それぞれ別の場所で待機（会場により指定あり）すること。なお、待機終了後、試合会場に移動する際は、待機場所を消毒すること。
3. 試合終了後、更衣を済ませたチームは速やかに帰宅すること。